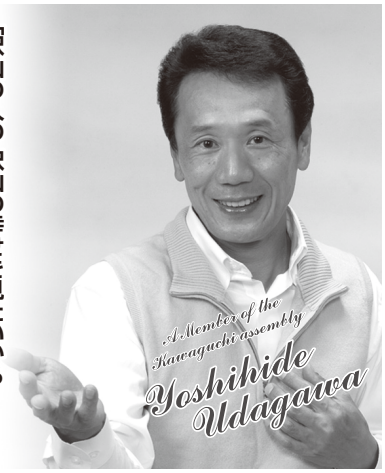
討議資料

宇田川よしひで 市議会ニュース

vol.68
2017年12月



「沢山の人の 沢山の幸せを見たいから
今までも そして これからも頑張ります」

平成29年 第4回 12月市議会定例会

市政に関する報告

所信と報告から

平成29年11月30日～
12月22日までの23日間

市長提出議案

今議会に提出された議案は、追加議案を含め、予算議案1件、条例等の一般議案90件です。

予算議案については、一般会計において、民間保育所施設整備費等に係る21億8401万6千円の補正をするものです。

次に、一般議案ですが、「川口市行政組織条例の一部を改正する条例」や、追加議案として、「川口市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」など、条例議案67件、契約議案6件、専決処分の承認議案1件、公の施設の指定管理者の指定議案5件、市道路線の認定及び廃止議案7件、人事議案4件です。

中核市への移行について

去る11月21日の閣議決定を経て、11月27日に川口市を中核市に指定する政令が公布されました。

中核市への移行準備ですが、市保健所につきましては、検査施設となる鳩ヶ谷庁舎6階及び7階の整備が完了し、埼玉県川口保健所内の市保健所改修工事や動物管理施設の新築工事も予定どおり順調に進んでいます。

また、今議会において、中核市への移行に伴い、県から移譲される事務等に関する条例議案52件が提出されました。

このほか、平成30年4月1日の「中核市川口」の誕生に向け、新たに担う多くの事務を万全な態勢でスタートできるよう、引き続き、鋭意取り組んでいきます。

川口市の人口について

本市の人口は、平成18年10月に50万人に達した後、平成23年10月の鳩ヶ谷市との合併を経て、その後も増え続け、近々60万人に達するものと見込んでいます。

まさに、皆様にご支援、ご協力いただきながら、進めてきた選ばれるまちづくりの成果が着実にあらわれてきているものです。

今後も川口市民の最大多数の最大幸福を目指し、60万人の目線に合う市政運営を積極的に推進していきます。

平成30年度の予算編成について

平成30年度の予算編成は、これまでの取り組みをさらに推し進めるとともに、中核市川口としての新たな取り組みを盛り込んだ予算案となります。

また、歳入が確保されて歳出が可能となるとの基本姿勢のもと、市税、使用料などの徴収に努めるほか、国の財政支援の積極的な活用や未利用資産の売却などにより、歳入の確保に努めてきました。とりわけ、市税の徴収においては、平成28年度個人住民税の収納率が、特にアップした市として、埼玉県知事から表彰されるなど大きな成果をあげたところです。

来年度の予算編成においては、現在の徴収実績を踏まえ、過去最高の市税収入を見込めるよう関係各部を督励しているところです。

必要な施策には、着実に予算措置を講じながらも、裏づけとなる歳入をしっかり確保する健全財政の市政運営を目指し、予算編成に取り組みます。

「3大プロジェクトの進捗状況」について

「新庁舎建設」につきましては、1期棟建設工事に係る入札が終了し、今議会に契約議案が提出されました。平成32年3月の完成に向け、平成30年1月から工事に着手いたします。

「川口市めぐりの森」につきましては、平成30年4月から施設の管理運営を行なう指定管理者の指定についての議案が今議会に提出され、建物本体の工事を年内に完了させ、その後、駐車場の整備や植栽などの外構工事を進めていきます。また、隣接する赤山歴史自然公園「イイナパーク川口」につきましては、歴史自然資料館及び地域物産館の仕上げ工事をはじめ、園路などの公園整備を進めているところであり、来年4月の一部供用開始に向け、工事の進捗に万全を期しているほか、本市の新たな賑わいの拠点となるよう、集客やイベントの誘致の取り組みも進めているところです。

「川口市立高等学校」につきましては、平成27年10月から工事を進めてきました校舎棟が、いよいよ12月の中旬に完成いたします。学校説明会のほか10月の市産品フェアにおきましても新校のPRを行なってきましたが、先頃、埼玉県が発表した10月1日現在の県内公立高等学校進学希望状況によりますと、川口市立高等学校全体では480人の募集人員のところ988人の進学希望があり、その倍率は2.1倍となっておりました。この数字を見ますと、新校の魅力が中学生や保護者の皆さんに十分伝わっているのではないかと考えているところです。

また、大学進学や海外留学などの教育活動を支援するため、川口市立高等学校教育支援基金を9月に創設し、この11月から市内企業や市民の皆さんからの寄附を開始したところです。

引き続き、多くの中学生から選ばれるよう、開校に向けて準備に取り組んでいきます。

川口市立高等学校

医療センターの地域医療支援病院への移行について

医療センターにつきましては、本市の基幹病院として、診療体制の充実はもとより、関係各位のご理解のもと、地域医療連携の推進に力を注いできました。

この連携をさらに密接なものとし、特に重篤患者を支える二次・三次救急医療機関としての役割を確実に果たすため、地域医療支援病院への移行を目指してきましたところ、県知事の承認を得るに至りました。

これを受け、平成30年4月1日から地域医療支援病院に移行すべく、今議会に選定療養費に係る議案が提出されました。

移行にあたりましては、かかりつけ医を持つことの重要性など、医療体制の役割分担について、市民の皆さんにご理解いただけるよう周知に努めるとともに、密接な地域医療連携と健全な病院経営の推進に全力で取り組んでいきます。

医療センター

川口市産品フェア2017について

10月27日から29日の3日間、SKIPシティにおいて開催されました市産品フェアは、今回新たにB街区にも会場を設け116団体154ブースの出展をいただきました。また、最終日は、台風の影響であいにくの空模様であったにも関わらず、9千人以上の来場者を数え、期間中、約4万3千人もの方にご来場いただきました。さらに、速報値ではありますが、期間中の商談件数も800件を超えるなど、本事業が着実に定着してきました。

今回は、ものづくりの楽しさを知っていただく技能フェスタの開催やアメリカオハイオ州フィンドレー市リディア・ミハーリック市長による「アメリカ中西部における企業支援」と題したプレゼンテーションなど「ものづくりのまち川口」にふさわしい内容としたほか、誰もが楽しめるステージショーや講演会、飲食ブースの充実にも力を入れたところです。

フィンドレー市長には、川口市立高等学校の視察に訪れている中、市産品フェアでプレゼンテーションを実施していただき、教育分野については、平成31年度からの留学事業のスタートに向け、交流が図られたものです。

※ここまでのレポートは市長の所信と報告を抜粋・加筆して作成しております。

川口市職員定数について

中核市移行及び行政需要の増加等により職員定数の見直しを行うため、職員定数条例を一部改正します。

項　　目	改正前	改正後
市長の事務部局の職員	2,436人	2,518人
消　防　職　員	556人	565人
公営企業の事務部局のうち病院事業の職員	835人	863人
(参考)全事務部局の職員定数合計	4,541人	4,660人

※平成30年4月1日施行

川口市自転車の安全な利用の促進に関する条例の制定

自転車の安全な利用に関し、各主体の責務及び施策の基本事項を定めることにより、その施策を総合的に推進し、もって歩行者、自転車及び自動車等が共に安全に通行し、かつ、市民が安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与することを目的とし制定するもの。

《制定の内容》

①市、市民、自転車利用者、事業者及び関係団体の責務について定めるもの

②市及び学校長が行う自転車交通安全教育について定めるもの

③自転車利用者の安全を確保するため必要な措置について定めるもの

④市が行う自転車の安全な利用を促進するための必要な措置について定めるもの

※平成30年4月1日施行

川口市立高等学校の入学料の改正

新たに開校する川口市立高等学校に入学する生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、入学料の見直しを行います。

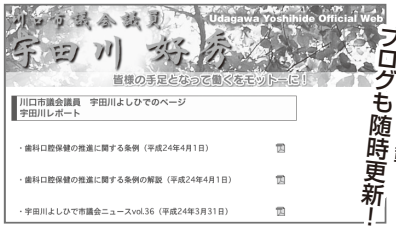
改正の内容

課　程	市内通学者		市外通学者	
	現　行	改正後	現　行	改正後
全日制	5,650円	0円	73,000円	5,650円
定時制	2,100円	0円	27,000円	21,000円

※平成30年4月1日施行

編集発行
川口市議会議員
宇田川　好秀
埼玉県川口市安行1117
TEL.048-294-3131 FAX.048-296-7070
印刷/コスモプリンツ株式会社

市政情報発信



活動情報を掲載！ブログも随時更新！

宇田川レポート更新中!!

http://gakkainavi.com/udagawa/report.html